

第74期 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

Asahi-Seiki

旭精機工業株式会社
証券コード：6111

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第74期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月



取締役社長

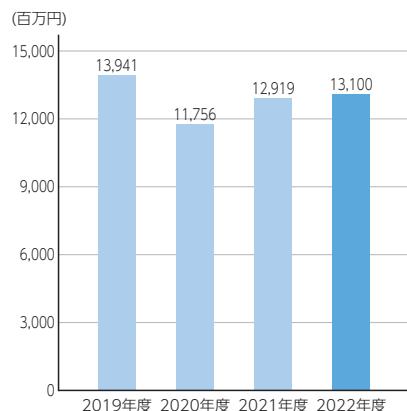
神谷 真二

事業の全般的状況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動との両立が図られる一方で、ウクライナ情勢によりエネルギー価格・原材料価格が高騰するとともに、世界的なインフレの進行や長引く部材不足、円相場の急激な変動等の影響から、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、プレス機械の売上が引き続き増加したものの、精密金属加工品において、自動車関連部品の他、水晶振動子関連部品、安全関連部品等の売上が減少したこと等から、売上高は131億円と前期比1.4%の増加にとどまりました。利益面につきましては、生産

■売上高



■営業利益又は営業損失 (△)



■経常利益又は経常損失 (△)



体制の改善に取り組んでまいりましたが、エネルギー価格・原材料価格の高騰、販売力強化に向けた販売促進費の増加等により、営業利益は3億4千8百万円と前期比17.7%の減少、経常利益は4億2千8百万円と前期比9.8%の減少となりました。当期純利益につきましては、前期に特別利益として計上しました投資有価証券売却益がなく、2億9千5百万円と前期比41.4%の減少となりました。

設備投資の状況

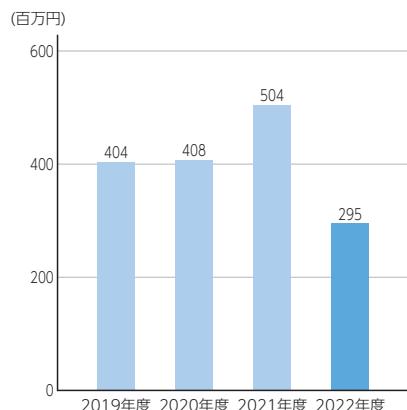
当期中に実施いたしました設備投資は総額8億2千5百万円で、その主なものは、金属加工機械製造設備の拡充・合理化に4億6千6百万円、精密金属加工品製造設備の拡充・合理化に1億5千9百万円及び小口径銃弾製造設備の更新に1億5千万円であります。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、原材料価格の上昇やウクライナ情勢の動向、金融資本市場の変動など懸念材料が少なくなく、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われま。

このような情勢のもと、当社は、積極的に新市場や新規顧客の開拓等に取り組むとともに、顧客が求める付加価値の高い新製品の開発、画期的な新技術を追求し、生産性の一層の向上を図りながら、業績の向上に向け鋭意努力してまいります。

■当期純利益



■総資産・純資産・自己資本比率



■設備投資額・減価償却費



部門別状況

精密加工事業部における当期の売上高は、66億2千5百万円と前期比7.3%の減少となり、機械事業部における当期の売上高は、64億7千4百万円と前期比12.1%の増加となりました。

その内容は以下のとおりです。

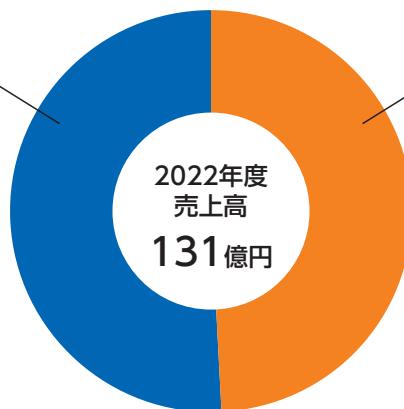
精密加工事業部

売上高 **66億円**
(50.6%)



機械事業部

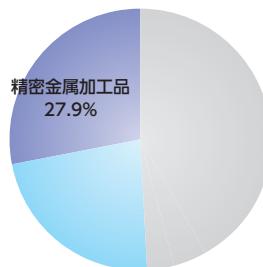
売上高 **64億円**
(49.4%)



■精密加工事業部

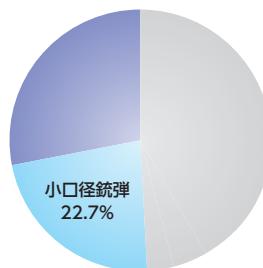
① 精密金属加工品

当期の売上高は、自動車関連、水晶振動子関連、安全関連の各部品等の需要が取引先の在庫調整等により減少したため、36億5千3百万円と前期比11.2%の減少となりました。



② 小口径銃弾

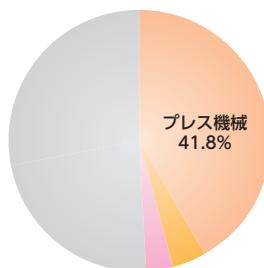
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、29億7千1百万円と前期比2.0%の減少となりました。



■ 機械事業部

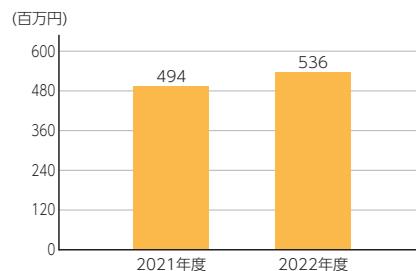
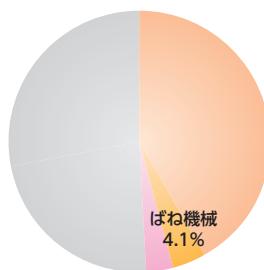
① プレス機械

当期の売上高は、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池缶製造用プレス機械の売上増により、54億7千9百万円と前期比17.3%の増加となりました。



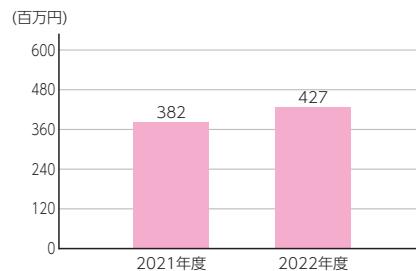
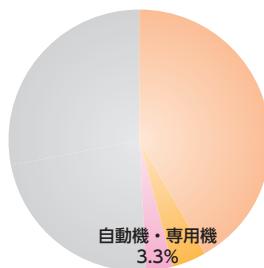
② ばね機械

当期の売上高は、大型機を中心に需要が徐々に回復してきており、5億3千6百万円と前期比8.5%の増加となりました。

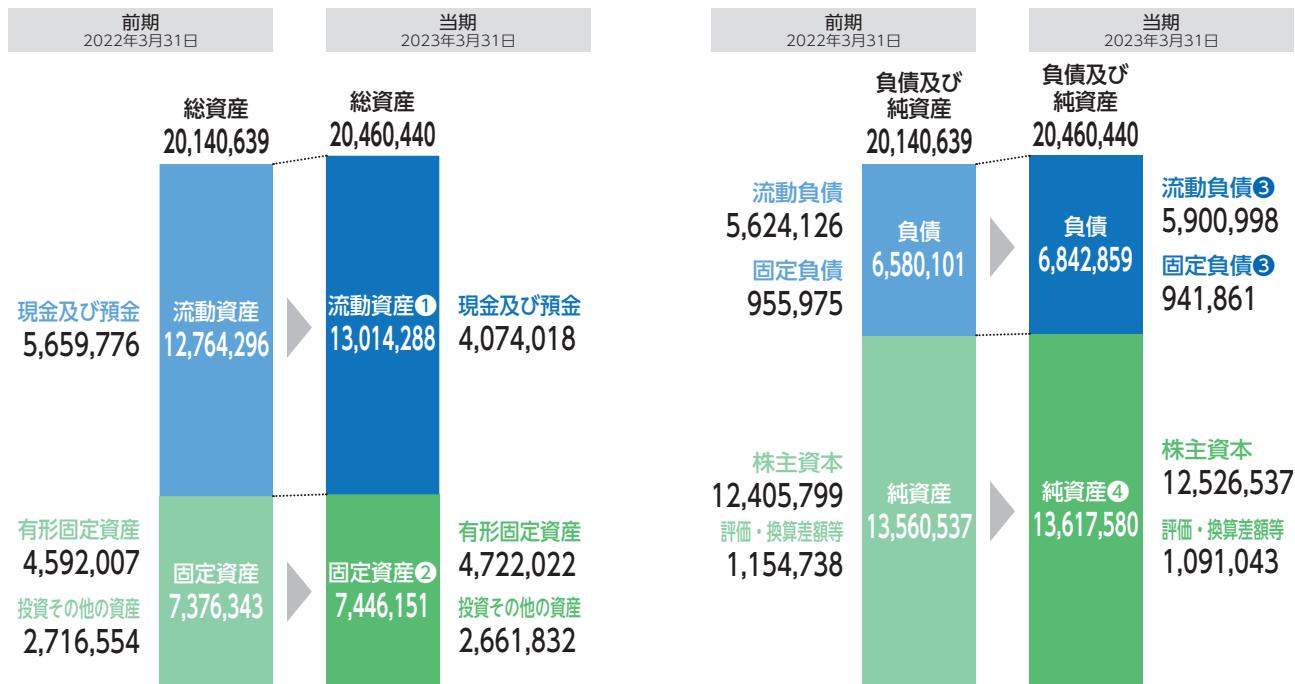


③ 自動機・専用機

当期の売上高は、リードタイムの長い機種が多いなか出荷が増加し、4億2千7百万円と前期比11.8%の増加となりました。



貸借対照表 (単位：千円)



Point ① 流動資産

前期末に比べ2億4千9百万円増加し、130億1千4百万円となりました。これは主に、現金及び預金が15億8千5百万円減少したものの、棚卸資産が13億9千万円、売掛金が3億7千3百万円それぞれ増加したためです。

Point ② 固定資産

前期末に比べ6千9百万円増加し、74億4千6百万円となりました。これは主に、投資有価証券が1億8百万円減少したものの、有形固定資産が1億3千万円増加したためです。

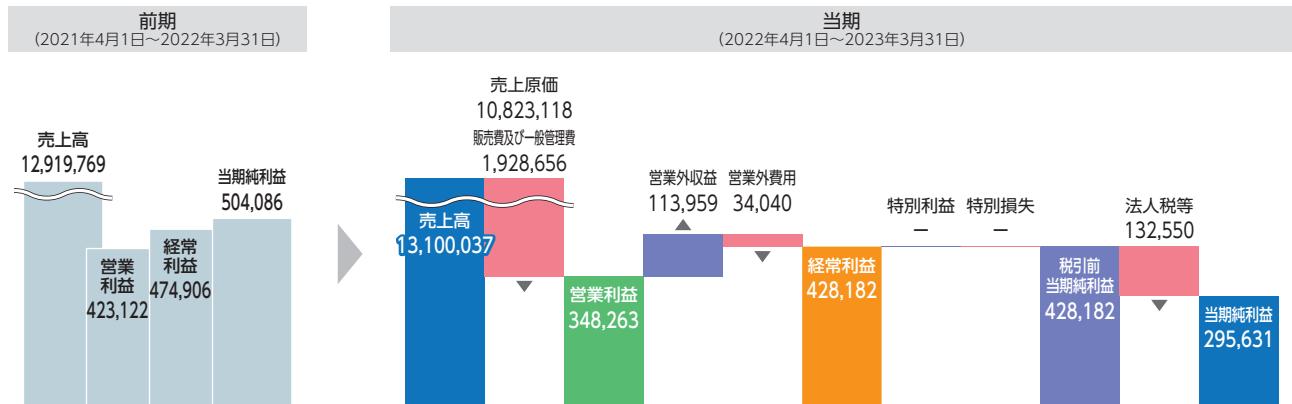
Point ③ 流動負債及び固定負債

流動負債は前期末に比べ2億7千6百万円増加し、59億円となりました。これは主に、未払法人税等が1億4千3百万円減少したものの、電子記録債務が3億1千7百万円、前受金が2億8千4百万円それぞれ増加したためです。また固定負債は前期末に比べ1千4百万円減少し、9億4千1百万円となりました。

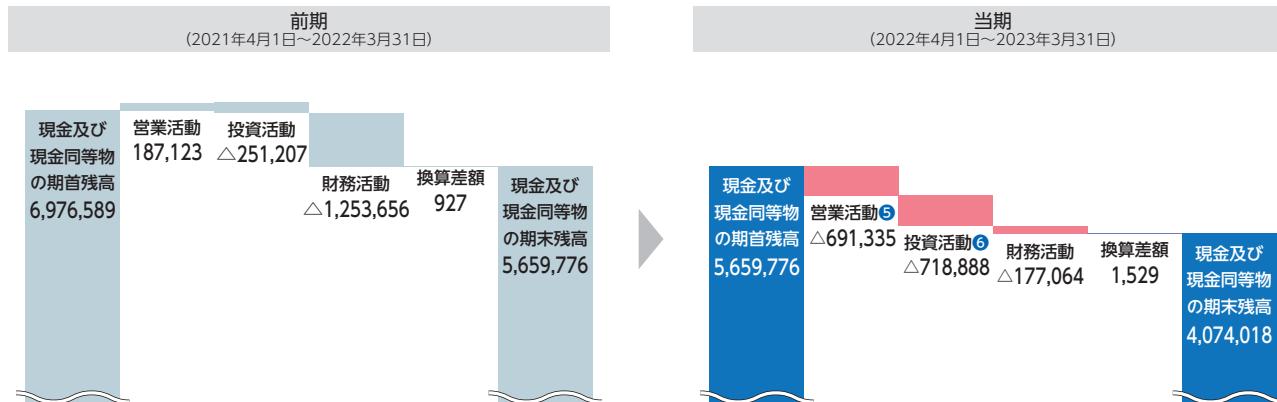
Point ④ 純資産

前期末に比べ5千7百万円増加し、136億1千7百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が6千3百万円減少したものの、繰越利益剰余金が1億2千1百万円増加したためです。

■ 損益計算書 (単位：千円)



■ キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)



Point ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、減価償却費で6億9千7百万円及び税引前当期純利益で4億2千8百万円計上したものの、棚卸資産の増加により13億9千万円及び売上債権の増加により3億5千1百万円減少し、資金は6億9千1百万円減少しました。

Point ⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に、有形固定資産の取得で6億9千3百万円支出したことに
より、資金は7億1千8百万円減少しました。

リアル展示会への出展再開

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い近年はオンライン展示会にのみ出展していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策と社会経済活動の両立が進む中、より効果的な営業活動を展開していく一環として、リアル展示会への出展を再開いたしました。

精密加工事業部は、自社開発したトランスファープレスを駆使し、お客様のニーズに合わせた多様な精密金属加工品を高精度・高品質で安定供給しているところ、展示会ではこの優れた【技術】をPRし、新たな顧客及び事業分野の開拓に取り組んでおります。

一方、機械事業部は、プレス機械、ばね機械、自動機・専用機といった機械・装置を開発・製造しており、当期は販売活動をよりグローバルに展開すべく海外での展示会にばね機械を出展しております。

精密加工事業部

INTERMOLD名古屋2022

2022年7月6日～7月9日までの4日間、ポートメッセなごやにおいて開催されましたINTERMOLD名古屋2022に出展いたしました。本展示会は、金型や金属プレス加工技術などの金属加工関連の専門性に特化した展示会です。

本展示会において当社は、当社の得意とする超深絞り加工や横穴加工、バルジ加工などの加工技術の高さをPRすべく、実際に加工した金属製品の展示を行いました。



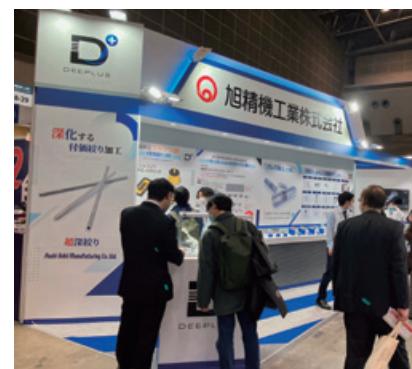
第15回オートモーティブワールド

2023年1月25日～1月27日までの3日間、東京ビッグサイトにおいて開催されました第15回オートモーティブワールドに出展いたしました。本展示会は、クルマの先端技術をテーマとした世界最大の展示会です。

当社は、本展示会のテーマに沿った加工技術をPRすべく、難加工材であるコルソン銅*1を深絞り加工した製品を初展示いたしました。コルソン銅は、導電性・熱伝導性などに優れており、電動化の進む自動車業界において期待されている素材です。

また、自動車業界では軽量化のため自動車部品のアルミ化が進展する中、アルミ加工技術の高さについてもPRすべく、アルミ材を使用した深絞り加工品などを展示いたしました。

※1 銅にニッケルやシリコンなどを添加した銅合金



■機械事業部

WIRE 2022

2022年6月20日～6月24日までの5日間、ドイツのデュッセルドルフにおいて開催されましたWIRE 2022に出展いたしました。本展示会は、ワイヤー、ケーブル、それらの加工機器や工具など、数多くの製品を取り扱う世界的な展示会です。

本展示会では、当社ばね機械（T2）の柔軟な加工能力をPRすべく、オプションの異なるばね機械2台を展示いたしました。

サンプルワークでは、銅線とステンレス線の特性の異なる金属線の加工を実施し、同機種でありながらオプションにより変化する加工能力をご覧くださいました。

また、サンプルワークの一部では、多様な形状が求められるバスバー^{※2}の加工を実施し、加工能力の高さについても併せてPRいたしました。

※2 バスバー：配線に使用される大容量の電流を流すための電極



Spring World

2022年10月12日～10月14日までの3日間、アメリカのシカゴにおいて開催されましたSpring Worldに出展いたしました。本展示会は、ばね・ワイヤー成形業界において1959年から続く歴史ある展示会です。

本展示会では、ばね機械（T2）とともに、海外での展示会では当社初出展機となるばね研削機（AG-5E）を展示いたしました。

当社製品のポテンシャルの高さを最大限にPRすべく、ばね機械（T2）には高機能ユニットをオプション搭載し、通常仕様のばね機械では困難な複雑加工を可能にし、ばね研削機（AG-5E）では、通常手作業で行う研削対象のばねの投入を自動で行わせるため、自動供給ユニットをオプション搭載するなど、両機種共に付加価値の高いオプションを搭載して展示いたしました。



AG-5E

T2

当期出展しましたいづれの展示会でも多くのお客様にご来場いただき、当社の製品と技術力の高さに関心を持っていただきました。

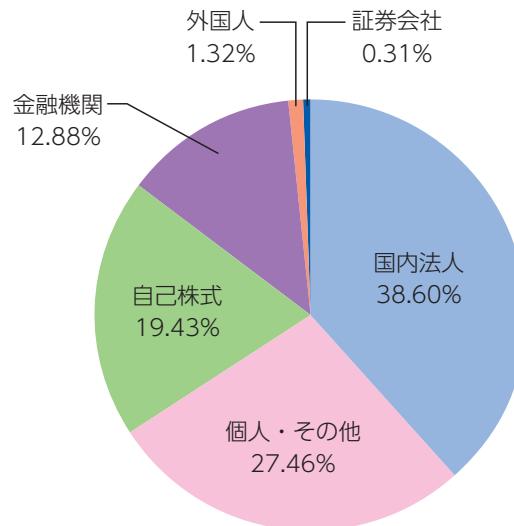
今後も当社の技術や製品を来場者に直にPRできるリアル展示会も活用しながら、積極的な営業活動を展開してまいります。

株式の状況

(2023年3月31日現在)

■発行可能株式総数	5,824,900株
■発行済株式の総数	3,088,739株
■株主数	2,431名
■1単元の株式数	100株
■大株主	

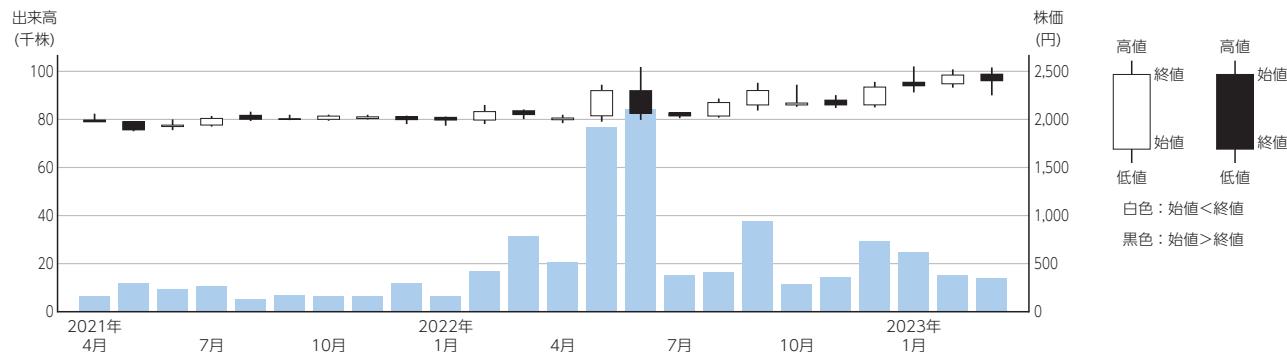
■所有者別株式分布 (2023年3月31日現在)



株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.31%
岡谷鋼機株式会社	164,600	6.61%
旭化成株式会社	148,900	5.98%
オークマ株式会社	120,000	4.82%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.78%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.26%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.47%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.27%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.80%
MSIP CLIENT SECURITIES	40,600	1.63%

(注) 持株比率は、自己株式(599千株)を控除して計算しております。

■出来高及び株価の推移



会社の概要

■会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 旭精機工業株式会社
(ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)
設立 1953年8月11日
資本金 41億7千5百万円
事業内容 精密金属加工品、小口径銃弾、プレス機械、ばね機械、自動機・専用機等の製造及び販売
従業員数 497名
拠点
本社・工場 〒488-8655
愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1
TEL (0561) 53-3112(代表)
東京支店 〒113-0034
東京都文京区湯島一丁目6番3号
TEL (03) 5805-6991
大阪営業所 〒564-0063
大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号
TEL (06) 6368-6251
ドイツ駐在員事務所 Oststrasse 54 D-40211 Düsseldorf, Germany

■取締役及び監査役 (2023年6月28日現在)

取締役社長 神谷 真二
常務取締役 工野 浩義
常務取締役 白石 憲生
取締役 松原 幸弘
取締役 石村 淳
取締役 青木 潤
取締役 坂野 彰
社外取締役 荻原 弘之
社外取締役 山脇 宏
常勤監査役 金 厚博
社外監査役 馬場 紀彰
社外監査役 上総 英男

株主優待のご案内

- (1) 対象となる株主さま
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株 (1単元)
以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

- (2) 優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	QUOカード 1,000円分

- (3) 謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式上市市場 名古屋証券取引所(メイン市場)
- 証券コード 6111

■株式に関するお手続きについて

■各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
●住所・氏名等の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
●単元未満株式の買取・買増請求		
●配当金の受領方法の指定・変更		
●特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
●支払期間経過後の配当金に関するご照会		
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
●その他のお問い合わせ		

■三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711(通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

旭精機工業株式会社

旭精機工業

検索 

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

